

【活動事例】

公表日:令和3年2月19日

プロジェクト名	CD「絆～忘れない2021」復興継続支援プロジェクト		
活動団体名 活動者名	NPO法人日本アクティブ・フード協会		
活動概要	<p>毎年3月11日に復興支援CDを全国発売し、CD売上収益とプロジェクト支援金の全額を被災地子供たち支援に寄付しています。</p> <p>CDには、被災地子供たちの歌や演奏、東日本大震災で生まれた歌、「わせねでや」「花の冠」「未来の光へ」「がんばれニッポン」等が収録されます。その他社会人合唱団やビックバンド等の演奏の他海外からの参加、トップアーティストの参加等、総勢500名が善意のボランティアで参加しています。</p>		
活動実績	2016年3月11日に初のCD「絆～忘れない」発売、以後毎年3月11日に発売し今年「絆～忘れない2021」～あれから10年～で6枚目のCD発売になります。		
活動地域	全国		
活動期間	2016年～継続中		
活動分類	1. ① ② 2. ウ キ		
活動を撮影した写真	表外参照		
URL	http://www.npo-jafa.com		
問い合わせ先	所 属	NPO法人日本アクティブ・フード協会	
	担 当 者	神原 進	
	電話番号	03-6661-9004	
	メールアドレス	info_atmark_npo-jafa.com	

※迷惑メール対策として「@」を「_atmark_」に変換しています。



特別後援:「くまのがっこう」チアジャッキーズ!

「絆～忘れない2021」 復興継続支援プロジェクト ご支援、ご協力をお願い。

2021年、東日本大震災10年が経過します。このプロジェクトは、被災地復興を願って生まれた歌「花の冠」「群青」「未来の光へ」「わせねでや」「がんばれニッポン」を、広くたくさんの方に聴いていただくことで、あの恐ろしい記憶を風化させないよう「復興継続支援CD」として毎年3月11日に発売しています。このプロジェクトで発売されるCD売上利益と、プロジェクト支援金と合わせた全額が被災地の子供達のために寄付されます。被災地では、未だに故郷にも帰れず不自由な生活を強いられている方々、仮設住宅住まいの方々、住環境や経済的な問題で苦しんでいる子供たちがたくさん居られます。被災地には、まだまだ支援の必要がございます。この機会に、いま一度皆様の温かいご支援をいただきたくお願いいたします。被災地に節目の年はございません。

そこにあった暮らしも人々の笑顔も、もう戻って来ないのかも知れませんが、私たちはここであった事を忘れません。そしてこの事をずっと伝え続けて行きます。(仙台南高等学校)

地震にも負けない強い心を持って、亡くなった方々の分も毎日を大切に生きて行こう。傷ついた福島をもとの姿に戻そう!福島をずっと見つめて行きます。(福島しあわせ運べるように合唱団)

あれから10年…この陸中の海は以前と同じ美しい青さを湛えています。しかし、そこかしこの風景は一変してしまいました。

今のこの風景を愛しい故郷として育てて行く子供たちに、私たちが伝えなければならない事があります。(宮古木曜会合唱団)

生き抜くために、極限の惨状の中から生まれた歌を聴いてください。被災地の声。苦悩の中で必死に頑張っている。子供たちの魂の叫びを感じてください。



※ご支援いただきました企業名、団体名、個人名は、私どもホームページに記載させていただくと共に、2021年3月11日全国発売されるCD内印刷物にも記載させていただきます。(CD内冊子には2021年2月18日までの支援者が記載されます。以降の支援は、来年発売予定のCDに記載)

※企業・団体様には、創業周年記念事業の一環として、企業の社会的責任(CSR活動)の一環としてご支援いただく場合、その趣旨も合わせて記載させていただきます。

あれから10年寄稿文(CD冊子内) 塚原光男、さとう宗幸、加藤登紀子、あいはらひろゆき、内藤淳一、佐藤敬子

「絆～忘れない2021」(あれから10年版)は、お近くのCDショップ、インターネット、私どもホームページにて購入いただけます。

備蓄食糧で社会貢献のお手伝いをする非営利団体です。



ご支援、ご協力方法については、上記ホームページよりお願いいたします。

TEL.03-6661-9004 FAX.03-6231-1381 (平日/月・水・木 13:00~15:00)
E-MAIL: info@npo-jafa.com
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町四丁目12番11号 日本橋中央ビル7階

■ 海外特別参加

ケルン市音楽学校ユース・シンフォニック・ウインドオーケストラ
Symphonisches Jugendblasorchester
Rheinische Musikschule Stadt Koln



■ 特別後援

「くまのがっこう」
Cheer Jackies! The bears' school

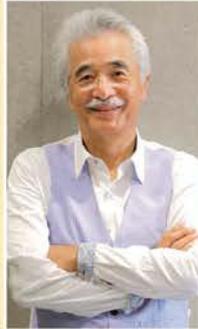


「朝日の輝き」
塚原光男 五輪体操メダリスト



あの日から10年。被災地では大震災の生々しい傷跡は消えつつありながらも、未だに仮設住宅に住まざるを得ない方々、故郷に帰れず仮住まいを強いられている方々がたくさん居られると聞いています。新型コロナウイルスは大変大きな問題ですが、東京オリンピック・パラリンピックの目的は、復興オリンピックとして開催される事を今一度確認しなければならぬと思っています。被災した方々の為にも、このプロジェクトをまだまだ応援しながら、私のできる事を続けて行きます。

「夢のつばさ」
さとう宗幸 歌手



いよいよ10年、まだまだ復興の途、よく節目と言われますが未曾有の大震災と大津波と大原発事故(節目など不要でしょう。未だにダンパーが走り、重機の音が聞こえる被災地です。震災直後から避難所から最後のひと一人が出られたらやっと復興の始まり、仮設住宅から最後のひと一人が出られたらやっとふるさと再生の始まり、と言いつつ続けてきました。これから被災地はふるさと再生に向かいます！昔のように日常的に挨拶を交わす声が、町中を駆け回る子供たちの姿がふるさとに戻るのはいつの日だろう。再生果たしたふるさとに、美しい虹がかかるのはいつのことだろう。

「群青」「しあわせ運べるように」「未来の光へ」
福島しあわせ運べるように合唱団
合唱指導/指揮:佐藤敬子



「花の冠」
田園調布雙葉中学高等学校 聖歌隊
合唱指導/指揮:藤本典子 ピアノ:宮地知佳



「故郷の空」

佐藤瑛太
聖ドミニコ学院小学校6年
(第8回
復興の詩独唱コンテスト
小学校の部最優秀賞)
ピアノ:小平圭亮



2021年
3月11日
CD全国発売
¥2,000(税別)
全18曲



「がんばれニッポン」吹奏楽版
オーケストラバージョン
「夜明けのうた」指揮/編曲
前田憲男 ジャズピアニスト
前田憲男が設立された2年4月が経ちました。東日本大震災以後、一貫して被災地支援活動を続けられ、特に子供たちの未来を案じておられました。復興継続支援プロジェクトにも当初から参加頂き、毎年、前田先生の音楽を収録提供いただいていることに光栄です。私達は、これからも前田先生の復興を願う気持ちを、前田音楽と共に伝えていきたいと思っています。(JFA東関東連合支援プロジェクト実行委員会)



「ふるさとを忘れない」
加藤登紀子 歌手
愛するひとを亡くしてしまった方へどうかあなたの愛するひとを思い出してください。思い出すと、更に悲しみが増えます。寂しさ悔しさ辛さ、更に込み上げます。でも、気づいてあげてください。愛するひとは、いつもあなたのそばにいてくれる。あなたの心の中で生きてくれていることを、そして、一緒に生きてください。そんなあなたに、私からの歌が届きますように!



「夜明けのうた」
杉田真理子
シャンソン歌手
このプロジェクトに参加させていただけること、嬉しく思っています。私が震災後に関わっていたのは2012年名古屋文化会館での復興支援手続のコンサートでした。名取文化ホールは大井が崩れ、復興に手がつかず、寂しい状況でしたが、このプロジェクトに参加させていただいた前田先生への思いを受け「夜明けのうた」に願いを託しました。今後も復興支援活動を応援していきます。



福島しあわせ運べるように合唱団
佐藤敬子 合唱団代表
福島県浪江町福島町圏域内にある小学校児童下宿宿願にある池田庄村町は震災10年経過する今も動いている。子供達と学び、一緒に時折辛くなる私はこの時詩を思い出す必要とされなくなった意識を見出し、池田庄村町に思いを込めて「福島しあわせ運べるように」と本気で感じました。この「復興の詩」は「復興とは?」「ふるさととは?」「絆とは?」「命とは?」をテーマに作られたことになり感謝しながら今後も努力して参ります。



絵本「くまのかっこう」作者
あいほらひろゆき
絵本作家
東日本大震災から今年で10年を迎えます。こども、人々の復興への活動・関心は急速に増えているように感じます。被災地以外の地域では復興の話題を耳にすることも減っています。震災の記憶は、かたがと後世に語り継がなければなりません。犠牲者の追悼、被災者への支援に終わりはありません。その意味でも、今年で6年目を迎える「絆〜忘れぬ2021」復興継続支援プロジェクトの取組は、今こそさらにその重要性を増していると思います。



「The Wind in the Willows」
Michael Rosinus 指揮者
ドイツで吹奏楽を学んだ際に日本の吹奏楽文化のレベルの高さを知り、吹奏楽指導に現れた現存日本の音楽家と親交を結ぶ。ケルン・シンフォニック・ウィンドが2017年と2020年に2度日本へ演奏旅行に行きました。2017年仙台での音楽高校吹奏楽部とのジョイントコンサートの楽しい思い出、仙台や松島の美しい風景、震災から復興した町や人々を見ることが出来た。現在全世界的に疫病の潮に襲われおにに不自由ですが、必ずこの潮を乗り越え、再び日本の音楽と音楽交流が出来ること心待ちにしています。



「ブライアンの休日」
内藤淳一
作曲家・大学客員教授
あれから10年…。様々な復興支援の活動に携わりながらずっと被災地の中にいた。今は故郷宮城を離れ、札幌での音楽教育の仕事の渦中にある。あの日の場所であったこと、あの震災で失われてしまった命や生活、景色があったこと、それを忘れないこと。「わせねでや」。それがあれからずっと心の中にあり続ける思いではある。



「がんばれニッポン」ピッコロ版
「O QUE E, O QUE E」
石井慎太郎
トランペット奏者
新型コロナウイルスが発生してから1年、そして東日本大震災から10年になります。日本は様々な災害に見舞われていますが、それらを風化させまいと支援し続けることは大変な事だと思います。我々は少しでもそのお手伝いが出来ればと、このCDを思い、楽しんで頂きたいです。

「わせねでや」
宮城県仙台南高等学校 音楽部(合唱団・吹奏楽団)
吹奏楽指導/指揮:小成田徹 合唱指導:立谷愛



「ブライアンの休日」
札幌大谷高等学校 吹奏楽局
作曲/吹奏楽指導/指揮:内藤淳一



「この道」
宮古木曜会合唱団
指揮:佐々木幹雄 ピアノ:藤田淑子



「さくら」
宮城三女OG合唱団
指揮:桑折金三 ピアノ:及川久美子



「The Wind in the Willows」
ケルン音楽学校コース・シンフォニック・ウィンドオーケストラ
指揮:Michael Rosinus



「朝日の輝き」
ザ・ムーンサルト4
Bs:矢島文絵 Vo/Gt:塚原光男 Dr:原田泳幸 Cho/Gt:戸田健治



「がんばれニッポン」ピッコロ版「O QUE E, O QUE E」
Orchestra Leao como o Sol
演奏指導/指揮:石井慎太郎



1. 活動主体・活動場所の分類

		活 動 場 所	
		被 災 地	被 災 地 外
活 動 主 体	自ら直接活動するボラン ティア、NPO、公益法人 等	①	②
	中間支援団体	③	

2. 活動内容別の分類

- ア. 初期支援（泥だし・片付け、清掃、など）
- イ. 生活支援（物資支援、買物支援、引越し支援、子育て支援、避難所の環境整備支援、仮設住宅の環境整備支援、など）
- ウ. 医療・健康支援（相談活動、心のケアを含む）
- エ. 雇用支援・産業支援
- オ. まちづくり支援
- カ. 助成・資金支援
- キ. 情報発信
- ク. アイデア提供（事業そのものは実施しないが、事業内容のアイデアを提供するなどの仲介役として活動、など）
- ケ. その他

など